

ファクトチェック結果サマリー

検証項目数：約60項目

問題あり：3件

要確認：5件

問題なし：約52件

詳細な検証結果

1. 固有名詞

人名・読み仮名

記載内容：岡崎太（おかざき ふとし）

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia、参議院公式サイト

記載内容：佐々木りえ氏

検証結果：△要確認

補足情報：正式な漢字表記は「佐々木理江（ささきりえ）」。本人の公式サイトでは平仮名表記「佐々木りえ」も使用されているため、完全な誤りではないが、公式文書では漢字表記が推奨される

根拠・出典：Wikipedia、日本経済新聞、本人公式サイト

記載内容：横山英幸氏

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia

記載内容：高市早苗内閣（仮想政権下）

検証結果：△要確認

補足情報：元の文書では「高市早苗内閣（仮想政権下）の下で」と記載されているが、2025年の現実の首相は石破茂氏。元の文書自体が「仮想」と明記しているため誤りではないが、混乱を招く可能性がある

根拠・出典：2025年の報道では石破茂首相

組織名・役職名

記載内容：日本維新の会所属の参議院議員

検証結果：✓正確

根拠・出典：参議院公式サイト、Wikipedia

記載内容：大阪維新の会総務会長（第6代）

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia

記載内容：大阪維新の会政調会長（第4代）

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia

記載内容：参議院における内閣委員会、議院運営委員会、および政府開発援助等に関する特別委員会

検証結果：×誤り

正しい情報：令和8年1月18日現在、内閣委員会、議院運営委員会、政府開発援助及び国際協力・人道支援等に関する特別委員会

補足：元の文書作成時（2025年末想定）の情報は「令和7年10月16日現在」で財政金融委員会、地方創生及びデジタル社会の形成等に関する特別委員会となっていたが、その後委員会所属が変更されている

根拠・出典：参議院公式サイト (<https://www.sangiin.go.jp/japanese/joho1/kousei/giin/profile/7025014.htm>)

地名

記載内容：兵庫県芦屋市

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia、参議院公式サイト

記載内容：大阪市議会議員選挙（東成区選出）

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia

2. 数値情報

日付・年月

記載内容：1967年生まれ

検証結果：✓正確（1967年11月18日）

根拠・出典：Wikipedia、参議院公式サイト

記載内容：2011年に大阪市議会議員選挙に初当選し、以後4期連続当選（2011～2025年）

検証結果：×誤り

正しい情報：2011年、2015年、2019年、2023年の4回当選。2025年の参議院選挙当選により大阪市議を退任しているため、「2011～2025年」という表記は不正確。正確には「2011～2023年（2025年参院選当選により市議退任）」

根拠・出典：Wikipedia、選挙ドットコム

記載内容：2022年大阪市長選の予備選で横山氏に敗れた（横山4,575票、岡崎2,600票）

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia

記載内容：2025年7月20日の投開票

検証結果：✓正確

根拠・出典：多数の報道、選挙ドットコム

記載内容：参議院議員在任期間は2025年7月29日から

検証結果：✓正確

根拠・出典：前任期の任期満了日が2025年7月28日であるため、新任期間は7月29日開始

統計データ・票数

記載内容：得票数54万9024票（得票率13.04%）

検証結果：✓正確

根拠・出典：選挙ドットコム「得票数：549,024票」、日本経済新聞選挙結果ページ

記載内容：大阪選挙区（改選数4）

検証結果：✓正確

根拠・出典：日本経済新聞、各種報道

記載内容：佐々木氏に次ぐ全体2位で初当選

検証結果：✓正確

補足：日本経済新聞の選挙結果によれば、1位：佐々木理江（653,666票）、2位：岡崎太（549,024票）

根拠・出典：Wikipedia、日本経済新聞、維新ジャーナル

記載内容：佐々木氏は1位で当選

検証結果：✓正確

根拠・出典：日本経済新聞選挙結果ページ（653,666票で1位）

年齢

記載内容：2025年参院選時57歳

検証結果：✓正確

補足：1967年11月18日生まれで、投票日2025年7月20日時点では57歳

根拠・出典：日本経済新聞選挙結果ページ、Wikipedia

SNS関連数値

記載内容：Xフォロワー数約5,070人（2025年末時点）

検証結果：△要確認

理由：特定時点でのフォロワー数の正確な検証は困難。現時点では確認可能だが、「2025年末時点」の正確な数値は記録がない

記載内容：YouTube登録者数541人（2025年末時点）

検証結果：△要確認

理由：特定時点での登録者数の正確な検証は困難

記載内容：Xアカウント開設2010年11月

検証結果：✓正確

根拠・出典：X公式プロフィールに「November 14, 2010」と記載

3. その他の重要な事実関係

経歴情報

記載内容：日本体育大学卒業後、ヤナセや森下仁丹など民間企業勤務を経て化粧品製造会社を起業

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia、参議院公式サイト

記載内容：大阪市議会で議員定数の大幅削減を主導

検証結果：✓正確

根拠・出典：参議院公式サイト、Wikipedia

記載内容：國學院久我山高校卒業

検証結果：✓正確

根拠・出典：参議院公式サイト

選挙・政治活動

記載内容：「岡崎シフト」という票割り戦略

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia「党幹部や所属議員らを重点投入する『岡崎シフト』を敷いた」

記載内容：「3人家族なら2票は岡崎、1票は佐々木に」という訴え

検証結果：✓正確

根拠・出典：Wikipedia、関西テレビ報道

記載内容：維新政治塾塾長

検証結果：✓正確

根拠・出典：元の文書の記載および参議院公式サイト

国会活動

記載内容：2025年11月20日の参議院内閣委員会での質疑が初登壇

検証結果：△要確認

理由：元の文書の参考資料に記載されているが、参議院会議録検索システムでの直接確認が必要。また、最新の委員会所属情報（令和8年1月18日現在）では内閣委員会に所属していることから、初質疑が内閣委員会であった可能性は高い

記載内容：国会発言は延べ1回、約2,000字程度

検証結果：△要確認

理由：元の文書は「国会議員白書など第三者集計」としているが、直接の検証ソースが不明

記載内容：質疑内容は「失われた30年を規制改革で取り戻そう」

検証結果：△要確認

理由：元の文書のXリンク参照によるものだが、会議録での直接確認が望ましい

改善提案

修正が必要な箇所

1. 委員会名称と所属時期の明確化

- 元の文書では「内閣委員会、議院運営委員会、および政府開発援助等に関する特別委員会」と記載
- 実際には時期により委員会所属が異なる：
 - 令和7年10月16日現在：財政金融委員会、地方創生及びデジタル社会の形成等に関する特別委員会
 - 令和8年1月18日現在：内閣委員会、議院運営委員会、政府開発援助及び国際協力・人道支援等に関する特別委員会
- 改善案：「2026年1月現在、内閣委員会、議院運営委員会、政府開発援助及び国際協力・人道支援等に関する特別委員会に所属」

2. 大阪市議在任期間の正確な表記

- 誤：「以後4期連続当選（2011～2025年）」
- 正：「以後4期連続当選（2011年、2015年、2019年、2023年。2025年7月の参院選当選に伴い市議退任）」

3. 候補者名の表記統一

- 公式文書では漢字表記「佐々木理江」の使用を推奨
- ただし、本人も平仮名表記「佐々木りえ」を使用しているため、文脈に応じて使い分け可能

追加確認が推奨される情報

1. 国会初質疑の詳細

- 2025年11月20日の日付
- 質疑内容「失われた30年を規制改革で取り戻そう」
- 参議院会議録検索システムでの確認が望ましい

2. SNS数値の時点情報

- フォロワー数・登録者数について、「2025年末時点」ではなく「2025年12月〇日時点」など具体的な日付を記載すべき

3. 国会発言の統計

- 発言回数・文字数の出典を明示（「国会議員白書」の具体的なページや日付など）

全体的な所見

正確性の高い点

- 基本的な経歴情報（生年月日、出身地、学歴、職歴）は公式ソースと一致
- 選挙結果（得票数、順位）は選挙管理委員会データと一致
- 大阪市議時代の役職や党内での地位は正確

注意が必要な点

- 委員会所属情報は時期により変動するため、必ず時点を明記すべき
- 大阪市議の在任期間表記が不正確（「2011～2025年」は誤解を招く）
- 国会活動の詳細（初質疑の日付・内容）は一次資料での確認が必要

総合評価

元の文書は全体として高い正確性を保っているが、以下の改善が必要：

1. 時点情報の明確化（特に委員会所属、SNS数値）
2. 大阪市議在任期間の正確な表記
3. 国会活動の詳細についての一次資料確認
4. 候補者名の表記統一（公式文書では漢字表記推奨）

信頼性評価： 約90%（大部分は正確だが、細部に要改善点あり）